

はばたけ

東京都社会福祉事業団

東京都八街学園

「はばたけ」

令和7年度 第2号

(通算 第61号)

令和8年 2月26日 発行

〒289-1103 千葉県八街市八街に151 ☎043-443-1021 FAX 043-443-7215

URL <https://www.jigyodan.org/yachimata-gakuen/> E-mail info@yachimata-gakuen.jp

ご挨拶

早いもので、令和7年度も残すところあとわずかとなりました。4月に八街学園の仲間になった職員たちも、今では、自信を持って子どもたちと関わっている姿が見られるようになりました。これは、彼らが、子どもたちに対し、意図的かつ濃密な関わりを行ったことで関係性が深まっていることの証左であると思います。彼らを支えてくれた先輩職員たちに感謝するとともに、それを糧に成長している彼らに、更なるエールを送りたいと思います。

前号にて、自立支援計画の書式改定のことに触れましたが、前後期の策定を終えて職員の方から感想を伺ったところ、「子どもと一緒に計画を作成することが楽しいです」という意見が多数出されました。入職5年目までの職員が約45%を占めるという若い職員集団ですが、対話を通し、「合意されたニーズ」を踏まえて計画を作成するというプロセスの意味と重要性を理解し、それを楽しめる職員の力量の高さを誇りに思います。

八街学園では、今年度、職員による「ワーキングチーム」の取組みを始めました。これは、リーダー層が入らない若手主体のチームを作り、行事等の定型業務の運営に加え、自分たちで考えた企画を行うというものです。今般ブログで紹介している行事の多くが、このワーキングチームによって実施されました。行事の場面においては、「迷ったら子どもの意見に立ち返る」という考えの元で企画されたことで、思いのほかクオリティを高めることができました。そして、特筆すべきは、彼らが主体的に研修や施設見学を企画し、園全体を巻き込んで実施をしてくれたことです。これらの取組みにより、企画の際に必要な要素、運営における配慮するポイント、実施後の検証の重要性など、多くのことを学ぶことができたようです。

児童養護施設は、支援者が行う養育活動により、子どもたちの成長をサポートする場ではありますが、支援者自身も、子どもとの関わり、行事、会議、研修などの間接的な業務により成長していくことがよくわかります。「おとなも子どももノビノビと」。これは私のモットーですが、これからもノビノビと成長していく子どもや職員の姿をあたたく見守っていただけますと幸いです。

東京都八街学園 園長 財前仁

ココラボ性教育始動！

令和7年度から立ち上げたワーキングチーム①の中では、主に性教育に取り組んでいます。“ココラボ”とは、子どもたちが「自分を知る」「探究」を通じて心と体を大切にできる場です。単に性教育の情報を提供する場ではなく、正解を押しつけない、自由で安心できる学びの場を目指しています。ワクワクしながら学び、発見する「冒険」のような性教育を一緒に作っていきたいと思います。

今年度の主な活動内容として、ココラボ NEWS を発行しました。初回は「うち」をテーマにしましたが、自分の体調と照らし合わせながら学ぶことができる内容となり大好評でした。今後も活動を広げていきますので楽しみに！

ココラボ NEWS
メインキャラクター
ととじい



ゲーム大会！



令和7年8月17日にゲーム大会を開き、ニンテンドーswitchの大乱闘スマッシュブラザーズでトーナメントを行いました！

日々の生活の支援を行っている寮の職員や、心理職員も参加し一緒に楽しみました。大人の力を見せつけようと職員も本気で挑みましたが、敢え無く敗退、本気で悔しがっていました。

ゲームが上手なこどもも、慣れていないこどもも本気で闘い楽しんでいました！

ブログにも載せているのでぜひご覧ください！

ブログの続きは
こちらから♪



納涼祭！

令和7年8月19日に、夏休み恒例の納涼祭を開催しました。

さっそく余談ですが、この「はばたけ」で納涼祭について取り上げるのが実は4年ぶりとなります。この間コロナ禍の影響で祭自体が中止になり、その後、地域開放せずに縮小版の納涼祭を実施していきました。今年度も同様に、地域開放しない形態での実施となりましたが、その代わりに、元職員さんや退所者の方々、またキッチンカーなど呼びして、小規模ながら、充実した祭となりました。



今回、新たな取り組みとしてオリジナル法被を色んな職員が考え、総選挙で勝ち抜いたものを、当日職員が着用しました。

また今回はダンスボランティアの方々を実に6年ぶりにお呼びして、ダンスを披露していただきました。あまりにカッコいいダンスに、こどもたち以上に盛り上がってしまう職員もいました。



★フレンドホーム(家庭生活体験事業委託家庭)を募集しています。

八街学園で暮らしているこどもの中には、夏休みや冬休みなどに、自分の家庭に帰れない児童がおります。そこで、みなさまのご家庭に夏休みや冬休み、あるいは週末などに、こどもを家族の一員として招いてもらい、家庭生活を体験させていただけるボランティアを募集しています。期間は1日から7日程度で、概ね3歳から12歳までのこどもが対象となります。

★学習ボランティアを募集しています。

小・中学生を対象に、個別あるいは、グループでの学習をお手伝いして頂けるボランティアを募集しています。教育関係者・学生・および教育に関心をお持ちの方など、是非ご連絡ください。

★遊びを通じてのボランティア(小・中学生以下対象)を募集しています。

資格等は問いません。是非ご連絡ください。お待ちしております。

ボランティア担当:平井 若林

八街学園を退所した皆様へ

学園を出て、一人暮らしをしたり、家庭に戻ったりなど様々な方がいらっしゃると思います。八街学園はそんな退所者の皆さんに、アフターケアとしてずっと関わっていき、何か手助けが出来れば、と思っています。

困ったことだけでなく、「話を聞いてほしい」、「なんとなく電話してみただけ」、そのようなちょっとしたことでも大歓迎です。

もしかしたら、転勤や退職で知っている職員がいない、ということもあるかもしれません。そういうときは、アフターケアの担当職員もいます。みなさんの連絡を待っています。



アフターケア担当:平井 若林